

第二憲法類編

第 第 第
三 五 八
類 門 號

第一篇 國法部
第五卷 貨幣
紙幣 金札引換公債證書 和業
藩紙幣 十九
新貨幣 廿五
新紙幣 廿四
銀行紙幣 廿三
贖金 廿五
證券 廿八
會社金券 廿六
雜 卅四

第 第 第
三 五 八
類 門 號

庫	文	閣	內	
三七一函	一四七八一冊	二七	和書	
四架				

內閣文庫	
番號	和 14781
冊數	55 (36)
函號	271 53



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

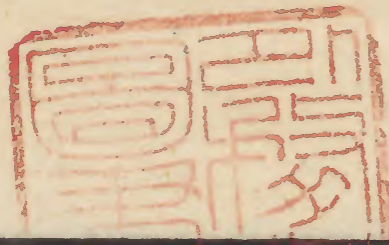
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



外務省
圖書記



第二憲法類編第八冊目錄

第一篇 國法部

第五卷 貨幣

○紙幣 金札引換公債證書

自第一至第五 金札引換公債證書發行ノ事

○藩紙幣

第六 上納ノ舊藩楮幣各種混淆不致様可取計ノ事

自第七至第八 舊藩々引換濟紙幣府縣へ預リ可置ノ事

第九 舊藩縣製造紙幣引渡濟ニ付受預證書引換方ノ事

自第十至第十三 舊藩紙幣五錢以下ニ捺印ノ印章増渡並押印交

換ノ上届方及七同斷ニ付諸入費受取方ノ事

自第四十八至第五十一 横濱為換會社發行金券引換ノ事

自第五十二至第五十三 東京為換會社發行金券引換ノ事

第五十四 各為換會社發行金券引換ノ分可届出ノ事

○銀行紙幣

自第五十五至第五十八 國立銀行紙幣發行ノ事

第五十九 第一國立銀行紙幣見本ノ分紛失ノ事

○雜

自第六十至第六十二 官省札藩紙幣燒捨ノ事

附 和泉橋外燒却場ニ於テ燒捨紙幣負數

自第六十三至第六十三 諸紙幣交換臨時至急ヲ除クノ外納拂日限ノ事

附 造幣寮首長年報刊行ノ事

第二憲法類編第八冊

第一篇 國法部

第五卷 貨幣

○紙幣 金札引換公債證書

○金札引換公債證書發行ノ事

第一 明治六年三月三十日第二百二十一號御布告

明治元年戊辰太政更始ノ際官省札ヲ十三ヶ年限リ發行候處速ニ收却ノ儀ヲ決シ己巳ノ冬ヨリ壬申年中ニ新貨幣ヲ以テ交收シ遺殘ノ札ハ一ヶ月五朱ノ利子毎年七月十二月兩度ニ割合拂渡スヘキ旨己巳五月廿八日布告候處政府ニ於テ尚收却ノ都合ニ至兼候ニ付金札所持人ヘハ約ノ如

ク一ヶ月五朱ノ割合ヲ以テ利子可相渡候得共各處散在一
一難拂渡ニ付明治六年第三月十五日ヨリ(第三見合)金札所持ノ
者へ一ヶ月五朱即十年六分ノ利息付公債証書ヲ可下渡候
條別冊公債証書發行條例ヲ遵奉シ證書讓渡等可致候若此
條例ニ犯違スルヨリ差起リタル訴訟等ハ一切裁決不致候
此段兼テ相違候事

但金札所持人ノ勝手ヲ以テ證書ヲ不望者ハ其意ニ任ス
ヘキ事

金札引換公債証書發行條例

明治元年戊辰太政更始の際十三ヶ年を限リ通用の約束
を以て官省札を發行せり己巳五月廿八日の布告ニ基き

今此公債証書を發行致さし付大日本政府ニ於テ制定し
たる條々左の如し

第一條

此公債証書ノ之を二種ニ分ち甲を記名公債証書と稱し乙
を利札附公債証書と稱す可し

第二條

記名証書ある者ハ持主の名前を證書の表面並ニ大藏省の
元帳へ載せ且人民讓渡此度毎大藏省へ差出其證書を書改
め大藏省の帳面ニ於ても其名前を書改む可し

第三條

利札附証書ハ其持主の名前を證書及ヒ元帳へも記載せし

第六頁編
第八冊

之を譲渡をもも只其證書を取遣るものにて別小記載の煩ふし且其證書の下端へ年々可拂渡利息高を認むる小札を附け
記名證書ハ五十圓百圓五百圓千圓の四種とし利札證書ハ五十圓百圓五百圓の三種とし
記名利札兩證書共發行月日より十五ヶ年の間流通せしむ可き者として證書を所持する月日より七ヶ年の間ハ只利息の之を拂渡しハヶ年目よりハ何時もても政府は都合より抽籤の方を以て元金を拂戻を可けさせ證書乃所持人ハ此時に至るも決して之を拒むの權ありさる可し是を以て發行月日より十五ヶ年後ハ是非共政府悉皆之を買揚

るの權ある可し（此節後改定アリ第五ニ載ス）

第四條

何人子論なく太政官札民部省札並に新圓札を所持し公布し従て利子を得んとを公債證書と交換せんことを欲せむ次節の手續を経其金札類を大藏省紙幣寮へ差出大藏省の都合を以て前章に載せしる兩證書の内受取る事を得へし

但受取し内贖札あり之を斷裁して其本人へ返さし（此但書後改定アリ第五ニ載ス）

東京横濱大坂西京神戸長崎箱館新潟及び右に接近する場所ハ大藏省紙幣寮又ハ其出張所又ハ第一國立銀行本店出

店等へ願書と俱し金札を差出さへし其他銀行の出店なき
場所ハ其地方官廳へ差出さへし

右公債證書を願受んと欲する者ハ前節の通り其場所の役
所又出店へ金札太政官民政部
及新札の總稱を幾許ハ高ふても持参して

何々高の公債證書記名或ハ
利札證書幾枚請取度旨を願書に認めて
差出さへし

各所の出張所或ハ国立銀行等ニ於て願人より願書と金札
とを受取る時ニ請取書二通を認め公便を以て本紙をハ

東京大藏省紙幣寮へ差出し寫紙本人へ渡置し可し尤も其
本紙へハ證書の種類枚數等を明細に記入さへし第一第二
種形の如し

紙幣寮ニ於てハ各所より右の受取書を送る時ハ直ニ證書

渡方の手續をなす右目錄通或ハ都合ニ由り大藏省存意通
の證書金高枚數ニ明細の目錄書と本人より差出さへし請

取は下書とを封入して公便を以て各所の役所へ届き夫よ
り本人へ送り届くへし第三第四第五
第六種形の如し

但土地の便宜よりて直ニ本人ハ宿所へ送る届くへし
本人ハ此證書を請取る時ハ證書と俱し請取りたる請取

書の下書へ請取する證書の目錄を記入し記名證書なき
ハ利息請取場
所ハ地名と
記入さへし

請取書の寫とを紙幣寮へ送るへし
證書を願ふハ其月の十五日以前に入金せられハ全月ハ利息

を拂ふ可きとも十五日以後あき其月ハ利息を拂ハさ

るる

第五條

兩證書共ニ其利息拂場所ハ東京大坂横濱長崎神戸西京新
 瀧箱館等ハ銀行出張所ニ於て之ヘ一故ニ記名證書を願受
 る者ハ當初證書を請取るとき同時ニ得たる請取書下書
 の末ヘ前ニ記せる場所の内其都合ニ任せ利息請取場を記
 入せる

利札證書ハ紙幣寮の元帳上ニ於て書替るゝと於て容易ニ
 何地ヘありとも轉移をへき者故ニ當初請取りたる本人ニ
 已前以て其利息請取場所を記入するニ及ばず利息請取期
 月ニ前ニ記せる場所の内ニ持参して請取る事を得し

記名利札兩證書ともニ其利息の拂方ハ毎年七月一日より
 十五日十二月一日より十五日まで兩度ニ拂渡すヘ一
 記名證書の利息請取方ハ所持人自ら其場所ヘ證書を持参
 一役人ハ目前ニ於て證書裏面の枠内ヘ記名調印をヘ一若
 し病氣其他止む事を得ざる事故ニ由て所持人自ら場所ヘ
 来りて請取るコト能ハば時々の名代人を命ニ證書を持
 参し請取る事を得ヘ一最も名代人を任するニ自筆記
 名調印の委任狀以渡置くるニ拂場所ニ於てハ本人自筆ニ
 委任狀を見一上ニて利息を拂渡すヘ一利札證書の利息請
 取方ハ本人ニても代人ニても其證書を利息拂場所ニ持参
 せし證書の下端ニ附添せる利札を切取りて其利息を相

二憲法編纂 第八冊
渡をへし（此前後改定アリ第五ニ載ス）

第六條

記名利札兩證書共ニ讓渡し何人ニ論もく所持人の勝手
あるへし
記名證書の所持主之を他人ニ讓渡さんと欲する時ハ其
證書は裏面枠内ニ示せる通り大藏省記録頭の眼前又遠隔
の地ありは地方官又ハ銀行の頭取ハ眼前ニ於て裏書をな
し記名調印し上りて讓受主へ相渡を要し
但本文の手數煩多實際不便宜を生ずる時ハ讓主ト
ニ相應證據とあるべき人物を頼り其眼前ニ於て裏書と
なり其人物の證印を得し上りて讓受主へ相渡しをも

苦いかり

讓受主ハ其證書を請取る時ハ其證書ハ第七雜形の通
書状を添て便利の地ハ東京紙幣寮へ差出して書替を請ふ
る一遠隔の地ありハ銀行又ハ地方官へ願ひ公便を以て紙
幣寮へ差出して差支あり又千圓の證書を所持するもの
五百圓を残して他ハ五百圓を讓渡さんと欲する時ハ矢
張其趣ハ證書裏面の枠内へ記入して書替を請ふ事前の如
くし第八雜形の如し
紙幣寮ニ於て右の手續して差出ざる證書と添書とを落手
とて當前ハ手續を遂けて送方をなを事最初の渡り方手續
の如くありへし尤も一の證書ハ半分を他人へ讓渡を付

第憲法編纂 第八冊

書替を請ふ時は、右當前の手續を遂げて、兩人へ送方をなす
へ
利札證書を譲渡せしめ、證書を書替へ、又ハ其都度之を届出
るゝも及ばず、只其証書を金と引替り取遣を致す

第七條

證書を貸入して借金として、借者ある時、利札證書あるハ其貸
取主より、利息拂場所へ其證書を持参して、利息拂方を
要望し、又ハ月日後七ヶ年（後三ヶ年ト改定第五見合）を経る後、拂戻の
籤子中記する證書を持参して、元金拂戻し、以て要望するも、紙
幣察す於てハ元帳上ハ名前記載あるを以て、貸入主質取主と
論なく、其證書持参の者ハ拂渡さす、尤も記名證書あるハ

是非とも本人又ハ本人自筆の委任状を帯びたる名代人ハ
非き、拂渡さす

第八條

證書の所持人若シ證書を取失ふ、又ハ盗取らる、時ハ
直ニ何号何番何高の記名、又ハ利札證書を失ひ、又ハ盗取ら
れたる由を、便利の地なきハ直ニ紙幣察遠隔地を以て、銀
行、又ハ地方官を通じ、紙幣察へ届出へ、尤も紙幣察へ届出
る前ハ其趣、新聞紙子載せて、布告をへし
紙幣察して、右の届書を受取り、速ニ其趣、并證書の種類、金
高番号を、各地方廳及ハ銀行へ、公告し、何月何日後ハ右種類
番号の證書ハ持参して、利息并元金の拂方を望むと、之を

取押へ推究の後其次第を届出へき旨を通達し且新聞紙其
他の手續 新聞紙あき地ハ村町を以て右の證書の取引を各
高札場子揭示せしむをへりしる旨を紛失又ハ盗去らむ一日より六ヶ月間公
布せらる

右公布の間ハ元金又ハ利息とを之を拂ひ渡さるへ六
ヶ月を過て其證書發見せざる時ハ紙幣寮にて新證書を
作てて所持人へ渡せし尤も公告時間中ハ積りたる利息
の高ハ新證書を渡したる次の拂期月ハ一同之を拂渡せし

第九條

水火災にて證書流失焼亡の事あれハ所持人の前條の手續
よて其趣を紙幣寮へ申立へし右流失焼亡の次第判然たむ

前條紛失の手續ニ從て之を處置せし又水火災にて其
證書此部分焼切き又ハ消滅して通用し難き程あれハ所持
人の残余の証書片を添へ書面にて其由を直し紙幣寮へ差
出せら又ハ銀行地方廳を通し之を差出し替り證書を乞ふ
を

第十條

何人子拘もるに公債証書を私に剥去り又ハ裂き又ハ塗抹
し孔を穿ち糊附せらる等の事を為せし若し犯に
の阿きの裁判に上其金高十倍以上の罰金を命ぜし
何人を論せし此公債証書を贋造し又ハ人取して之を模擬
せしめ又ハ人の贋造せらる助け又ハ贋造と知て通用せ

一、め又ハ証書の圖画文字を交換一又ハ人をして交換せし
免又交換せしとのと知て之を通用一其他似寄の板版紙
品雜形の圖画文字等を所持するものハ都て法に從て之を
處をへ一

第十一條

政府の都合よりてハ要用此事あるハ何時もても此條例
を増補一又ハ之を改正をへし尤も増補改正等ハ速に
其由を世上に公布ををらし
右之通相定候事

明治六年一月廿八日

太政官

第一号

(自第一号至第五号
文例改正アリ第二号載之)

請取證書表書文例

何番

明治何^支年ノ公債ノ勘定トシテ本日日本政府
ノ信ヲ以テ何圓ノ金高ヲ受取申候仍之請取證
書ニ通相渡シ候也

明治何年何月日

何地出張紙幣寮

何縣廳公債掛

何縣何銀行

何之誰印

何府何州

何之誰殿

第一号

同上裏書文例

此證書ハ何圓引替ニテ相渡シ候依之何府何村何之誰ハ
姓名記載証書 左ノ目錄通御渡可被成候也
利息札付証書

公債証書目錄

利息札付	何圓証書	何圓証書	何圓証書	何圓証書
何枚	何枚	何枚	何枚	何枚
全	全	全	全	全
計何圓	何枚	計何圓	何枚	計何圓

明治何年何月日

大藏省

紙幣頭何之誰殿

何地出張紙幣寮

何縣廳公債掛

何縣何銀行

何之誰印

第二号

請取證書寫文例

何番

明治何年ノ公債ノ勘定トシテ本日々本政府
ノ信ヲ以テ何圓ノ金高ヲ受取申候仍之請取
證書二通相渡シ候也

何地出張紙幣寮

何縣廳公債掛

何縣何銀行掛

何之誰印

明治何年何月日

何府何村

何之誰殿

第三号

持主タルヘキ者へ送方文例

此便ヲ以テ別封明治何^千年ノ公債利息札付證書ヲ
差送候間此目錄ニ引合セ落手可有之候

何番

何圓

何枚

全

全

何地出張紙幣察
右ハ何^府縣公債掛之請取預リ書ヲ證據トシテ發行候也

何^縣何^{銀行}

明治何年何月日ヨリ何分ノ利息拂初ム

明治何年何月日

何^府何^村

何之誰殿

東京
大藏省
紙幣頭何之誰印

第四号

證書持主ヨリ差出スヘキ請取書文例

何月日附ノ貴翰落手仕明治何^千年ノ公債利札附
證書左ノ目錄通牒ニ請取申候

目錄

何番

何圓

何枚

全

全

利息ハ何地ニテ御拂可被下候

明治何年何月日

何^府何^村

何之誰印

大藏省

紙幣頭何之誰殿

第五号

別封何_府何_村何ノ誰へ可相渡公債証書并請取
証書其他當人ヨリ可差出右ノ請取証書共封入
差送候間當人へ相達右証書へ月日姓名記入為
致調印之上當察へ可被差越候也

明治何年何月日

大藏省
紙幣頭何之誰印

何地出張紙幣察
何_府廳公債掛
何_縣何銀行
何之誰殿

第六号

封書雜形

何地出張紙幣察
何_府廳公債掛
何_縣何銀行
東京
大藏省
紙幣頭何之誰
何之誰殿
公用
公債証書何圓封入別封入

第七号

書替願書

私儀何_府縣何_町村何_之誰ヨリ別書金高ノ證書
ヲ讓受候ニ付テハ私ノ姓名ニ御書改可被
下候以上

明治何年何月日

何_府何_町村何_之誰印
何_府縣何_之誰印
何_府縣何_之誰印
何_府縣何_之誰印
何_府縣何_之誰印
何_府縣何_之誰印

第八号

同上

此書狀中何々ノ公債金高千圓ノ證書ヲ封入
差出申候是ハ内金五百圓丈裏書ノ通何_府縣何_町
村乙某へ讓渡候ニ付同人姓名ニ御書改被下
殘リ五百圓ハ私姓名ニ御書改可被下候以上

明治何年何月日

何_府縣何_町村何_之誰印
何_府縣何_町村何_之誰印
何_府縣何_町村何_之誰印
何_府縣何_町村何_之誰印
何_府縣何_町村何_之誰印
何_府縣何_町村何_之誰印

第二 六年六月廿四日第二百二十四號御布告

本年第一百二十一號布告金札引換公債證書發行條例中請取

證書等ノ文例別紙ノ通改正候條此旨相達候事

第一号
請求證書表書文例

何番

種類何兩

一 太政官札

同

一 民部省札

何圓

一 大藏省新札

同

一 貨幣

計何圓

右ハ明治何年ノ公債ノ勘定トシテ本日々本政府ノ信ヲ以テ
書面ノ金高ヲ受取申候仍之受取證書相渡候也

明治何年何月日

何府何町

何之誰殿

何地出張紙幣寮
何縣廳公債掛
何府何銀行
何之誰印

第一号

同上裏書文例

此證書ハ何圓引替ニテ相渡シ候依之何縣何町何之誰ハ
記名公債証書左ノ目錄通御渡可被成候也
利札付
公債証書目錄

利札付證書

何圓証書

何枚

記名証書

何圓証書

何枚

全

全

全

計何圓

何枚

計何圓

何枚

明治何年何月日

大藏省

紙幣頭何之誰殿

何地出張紙幣寮
何縣廳公債掛
何府何銀行
何之誰印

第二号

請取證書寫文例

何番

一 太政官札

一 民部省札

一 大藏省新札

一 貨幣

種類何兩

同

何圓

計何圓

右ハ明治何年ノ公債ノ勘定トシテ本日々本政府ノ信ヲ以テ書面ノ金高ヲ受取申候仍之受取証書相渡候也

何地出張紙幣察

何府廳公債料

何縣何銀行

何之誰印

明治何年何月日

何府何町

何之誰殿

第三号

持主ナルヘキ者へ送方文例

此便ヲ以テ別封明治何年ノ公債記名利札付公債證書ヲ差送候間此目錄ニ引合セ落手可有之候

何号何番

何圓

何枚

全

全

何地出張紙幣察

右ハ何府廳公債掛之請取預リ書ヲ證據トシテ發行候也

何府何銀行

明治何年何月日ヨリ何分ノ利息拂初ム

明治何年何月日

何府何町

何之誰殿

東京

大藏省

紙幣頭何之誰印

第四号

證書持主ヨリ差出スヘキ請取書文例

何月日附ノ御封書落手仕明治何年ノ公債記名利札付證書左之目錄通慥ニ請取申候

目錄

何号何番

何圓

何枚

全全

全全

利息ハ何地ニテ御拂可被下候

明治何年何月日

何府何村

何之誰印

大藏省

紙幣頭何之誰殿

第五号

別封何府何村何ノ誰ハ可相渡公債証書并証書
目錄其他當人ヨリ可差出請取証書トモ封入差
送候間當人ハ相達右証書ハ月日姓名記入為致
調印之上當寮ハ可被差越候也

明治何年何月日

大藏省

紙幣頭何之誰印

何地出張紙幣寮

何府縣公債掛

何府縣何銀行

何之誰殿

第三 六年七月十四日第二百四十五號御布告

本年三月第百二十一號金札引換公債証書發行ノ儀布告候處詮議ノ次第有之本年一月廿九日即舊曆正月一日以後一ヶ月五朱ノ割合ヲ以テ利子可拂渡候條此布令到達ノ日ヨリ四十日間ニ右證書交收ヲ可願出若此期限ニ後レ願出候者ハ本年三月十四日以前ノ利子ハ不相渡候此旨布告候事

第四 六年七月廿二日第二百六十四號御布告

本年三月第百廿一號布告金札引換公債証書發行條例第三條第四條第五條第七條中別紙之通改定候條此旨布告候事
金札引換公債証書發行條例之内

第三條第三節

記名利札兩證書共發行ノ年ヨリ十五ヶ年之間流通セシム可キ者ニシテ証書ヲ所持シタル年ヨリ三ヶ年之間ハ只利足ノミヲ拂渡シ四ヶ年目ヨリハ何時ニテモ政府ノ都合ニヨリ抽籤ノ方ヲ以テ元金ヲ拂戻スヘケレハ證書之所持人ハ此時ニ至ルモ決シテ之ヲ拒ムノ權アラサルヘシ是ヲ以テ發行ノ年ヨリ十五ヶ年後ハ是非トモ政府悉皆之ヲ買揚ルノ權アルヘシ

第四條初節但書

但シ受取シ内贖札アル時ニハ其贖札ニ相違ナキノ確証ヲ持參人へ指示シ其種類金高枚數等ヲ帳面ニ記シ置キ其札ハ即座ニ之ヲ斷截ニ附スヘシ



賈札持參之者ニ疑シキ事ノレハ之ヲ探
索シ又ハ之ヲ推糺スル事勿論タルヘシ

第五條第四節

記名証書之利息拂方ハ其期月前紙幣寮ヨリ利息請取切手
第九号雜形之如シヲ直ニ證書之所持人へ相送り又時宜ニヨリテハ
地方廳ヲ通シ差送ルヘケレハ所持人ハ切手之裏面ニ雜形
ノ通り記名調印シテ之ヲ其名宛ノ場所ニ持來シテ利息ヲ
請取ヘシ若病氣其他止ムヲ得サル事故ニ由テ所持人自ラ
其場所ニ至リ請取事能ハサル時ニハ名代人ヲ命シ切手ヲ
持參シテ請取事ヲ得ヘシ尤名代人ヲ任スルニハ自筆記名
調印之委任状ヲ渡置ヘシ拂場所ニ於テハ本人自筆ノ委任
状ヲ見シ上ニテ利息ヲ拂渡スヘシ利札證書ノ利息請取方

ハ本人ニテモ代人ニテモ其證書ヲ利息拂場所ニ持參スレ
ハ證書ノ下端ニ附添セル利札ヲ切取りテ其利息ヲ相渡ス

書面證書之利息

一金何圓

當何年上六ヶ月分

證書所持人 何某

書面金高前書證書所持人へ可相渡候也

明治何年月日

紙幣頭何某 (印)

何地出張紙幣寮

何府廳公債寮

何縣何銀行

何某宛

調印之委任状ヲ渡置ヘシ拂場所ニ於テハ本人自筆ノ委任状ヲ見シ上ニテ利息ヲ拂渡スヘシ利札證書ノ利息請取方

ハ本人ニテモ代人ニテモ其證書ヲ利息拂場所ニ持参スレハ證書ノ下端ニ附添セル利札ヲ切取りテ其利息ヲ相渡スヘシ

第七條

七ヶ年ヲ經タル後ヲ三ヶ年ヲ經タル後ト改ム

表面 切手雛形第九號

第何號

何記號自何番至何番

一 何圓記名證書

何枚

何番記號

一 何圓記名證書

一枚

何縣何村何番地

證書所持人 何某

書面證書之利息

一金何圓

當何年上六ヶ月分

明治何年月日渡

第何號

證

何記號自何番至何番

一 何圓記名證書

何枚

何番記號

一 何圓記名證書

壹枚

何縣何村何番地

證書所持人 何某

書面證書之利息

一金何圓

當何年上六ヶ月分

書面金高前書證書所持人へ可相渡候也

明治何年月日

紙幣頭何某



何地出張紙幣寮

何縣廳公債掛

何縣何銀行

何某宛

明治何年... 御渡被下... 利息... 公債掛宛... 何銀行... 何縣府... 何地出張... 紙幣寮... 何某

書面餘善之四度

當何年上六下月公

何某

一 何圓時以證書
一 林

一 何圓時以證書
一 林

何林

裏面

請取證書

表書之金私所持之公債證書當何年
上六ヶ月分之利息トシテ御渡被下
正ニ請取申候仍如件

表書

證書所持人

明治何年月日

何某



何地出張

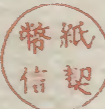
紙幣寮

何府廳

公債掛宛

何縣府

何銀行





同返計

同自線

公對世衣

同和線

入部習

同出線

同其
甲

器書預卦入

奉書

五二請項申知以收抄

可六日月公之味身十三元嗽懸妹可

奉書之金林所卦之公對器書當同羊

請項器書

裏面

Vertical text columns on the left page, including a title '第...編' and '第...冊'.

第...編
第...冊

十八

第五 六年八月廿日第三百三號御布告

本年三月第百二十一號布告金札引換公債證書發行候條見本相添此旨布告候事見本略ス

○藩紙幣

○上納ノ舊藩楮幣各種混淆不致様可取計ノ事

第六 六年一月十日大藏省第一號府縣へ布達

東京大坂紙幣寮へ上納可相成舊藩ノ製造之楮幣百兩宛ニ糊封致シ可差出旨相達候處各種混淆一封ニ致差出候縣ニ有之哉ニテ多數之檢査差支候間各種混淆無之様可取計尤都合ニ寄百兩内外之糊封ハ不苦候事

○舊藩々引換濟紙幣府縣へ預リ可置ノ事

第七 六年一月十五日大藏省第二號府縣へ布達

舊藩々製造之紙幣引換濟之分三河信濃以東ニ屬スル縣々ハ東京紙幣寮越中飛彈以西ニ屬スル縣々ハ大坂出張紙幣寮へ上納可致旨壬申八月廿九日官藩交換手續書ヲ以相達是迄引換收入札損札未發行札貸附上リ札準備札之類ハ東京大坂兩所之内便宜之方へ上納可致旨同十一月十二日相達置候處遠隔之地ヨリ右兩所へ運輸不便之向モ有之趣ニ付テハ自今右之分ハ勿論租稅其他諸上納藩札之分共當省ヨリ官員派出請取檢査之上地方於テ燒捨相成候間東京大坂へ上納ニ不及追テ官員派出迄府縣廳へ預リ置可申尤租稅其他諸上納藩札之分ハ租稅出納兩寮之都合モ有之儀ニ

付右藩札ニ限リ知令恭事預リ証書ヲ以兩寮納ニ相立可申候條其旨相心得外藩札一同前文官藩拮幣交相手續書第四條之趣ヲ以札員檢査糊封之上右官員派出請取候迄不都合無之樣嚴重取締致置可申候且右交換其他之藩札共萬一非常騷擾之際賊徒掠奪候共再度發行不相成様札面上左右之隅裁斷糊封致置可申候此段相達候事

第八 六年三月廿八日大藏省第四十五號府縣へ布達
舊藩札引換并為燒捨當省官員派出ニ付引換札損札未發行札其他租稅諸上納札共官員派出迄縣廳へ預リ置租稅諸上納札ハ租稅出納兩寮之都合モ有之儀ニ付知令參事預リ証書ヲ以右兩寮納ニ相立候様本年當省第二號ヲ以布達候處

未夕官員派出無之縣々ハ是迄ノ通知令參事預リ証書ヲ以兩寮納ニ相立既ニ官員派出有之縣々ハ右派出官員ノ受取證書ヲ以租稅出納兩寮納ニ相立可申候此段更ニ相達候事
○舊藩縣製造紙幣引渡濟ニ付受預証書引換方ノ事
第九 六年十月廿二日大藏省第四百四十八號府縣へ布達
舊藩縣製造紙幣ヲ以租稅其他諸上納之分當省ヨリ官員派出受取候上地方於テ燒却相成候間右紙幣府縣廳へ預リ置知令恭事預リ証書ヲ以納ニ相立可申候條當省本年第二號四十五號及布達置候處追々官員派出紙幣引渡相濟候ニ付
丁、官員受取證書ト最前上納濟預リ証書ト引換之儀紙幣寮へ申出引換方可取計候條此旨相達候事

○舊藩紙幣五錢以下ニ捺印ノ印章増渡并押印交換ノ上届方及ヒ同斷ニ付諸入費受取方ノ事

第十

六年三月十二日大藏省第二十八號府縣ハ布達

舊藩ハ製造紙幣ノ内差向五錢以上ノ分交換相始五錢未満ノ分ハ追テ交換迄押印ノ上當分合通用候積就テハ新貨相當ノ印章一種ニ付五顆ツ、相渡候段去壬申八月廿八日官藩措幣交換并五錢未満小札押印手續書ヲ以テ相達置價格比較表出来次第追々印章相渡候處五錢未満ノ小札多且管内手廣ノ場所一種五顆ニテ押印ニ年月ヲ經候儀ニ立至候テハ不都合ニ付申出次第増印可相渡條現今小札高并印章増員數共至急取調可申出候此段相達候事

第十一

六年三月廿二日大藏省第三十六號府縣ハ布達

舊藩ハ製造紙幣ノ内差向五錢以上ノ分交換五錢未満ノ分ハ追テ交換迄押印ノ上當分合通用候ニ付新貨相當ノ印章相渡候ニ付去壬申八月廿八日相達候官藩措幣交換并五錢未満小札押印手續書ノ趣ヲ以專テ取行申ニ可有之右押印相濟候上ハ早速報告書可差出ハ勿論ノ事ニ候得共若遲延亦ハ區々ハ届方有之候テハ不都合ニ候條押印相濟次第取行候場所并始業卒業ノ月日取扱ノ人名等巨細ハ報告書ハ別紙雛形通ノ押印濟内譯帳相添早々可届出尤當省官員派出致居候場所ハ打合ノ上可取計此段相達候事

第十二

六年三月三十一日大藏省第四十九號府縣ハ布達

別紙雛形之

舊藩縣製造ノ紙幣引換元金追々下渡候ニ付テハ壬申第百十六號當省布達第一類編第五卷第九十二見合官藩楮幣交換手續書以趣ヲ以取行中ニ可有之交換相濟候止ハ交換押印藩札運輸燒却等ノ諸入費ノ兼業相達候趣ヲ以別途請取次第精細ノ調書ヲ以可届出ハ勿論ノ事ニ候得共若遊延亦ハ區々ノ届方有之候テハ不都合ニ付押印交換相濟次第租稅其他諸上納札諸入費ニ至ル迄ハ藩限無漏別紙離形ハ通精細取調右交換取行候場所始業卒業ノ月日取扱人名等ノ報告書相添早可届出此段相達候事別紙離形畧之但舊旗下舊采地ハ發行ノ紙幣御引換相成候分モ其所轄ノ府縣於テ本文同様取調可差出事

第十三 六年十二月廿三日大藏省第百八十四號府縣へ布達

舊藩縣旗下製造ノ紙幣押印交換相濟次第右諸入費別途請取方等ノ儀本年當省第四十九號及布達置候處卒業ニ至リ候テモ今以請取方不申出向モ有之右ハ取調之都合モ候條押印交換燒却悉皆相濟候分ハ右紙幣ニ關係之諸入費取纏別途請取方早々可申出其他前布達之通可心得此旨相達候事

第十四 六年三月十二日大藏省第二十九號府縣へ布達

舊諸藩縣ヨリ紙幣ニ關シ候願伺届ノ類去壬申二月廿六日元紙幣察類燒ノ節燒失ニ付寫取揃可差出旨同月晦日相達

置候處于今不差出向_レ有之右ハ舊藩縣ヨリ引渡之書類寫
取差出候儀ニ行遲滞可致謂無之不都合ノ事ニ候條若書類
引渡方不行届ノ分ハ舊官員取_レ已巳十二月以來壬申二月
廿五日迄紙幣ニ關シ候諸願伺届辨官并當省ハ差出御沙汰
指令濟ノ分共都テ寫取揃往復ヲ除日數十五日ノ内當省ハ
可差出猶此段相違候事
但差出濟_レ向_レ何月幾日差出候段斷書可差出且舊旗下
ノ分ハ當時管轄ノ府縣於テ取集可差出事
○藩札引換金渡其他調印勘合ノ夕メ地方官印章可
差出ノ事

第十五 六年四月五日大藏省第五十五號府縣ハ布達

藩札引換金渡其他受取證書調印勘合ノ為メ其_{府知事} 令 祭事
之印章壹枚ツ、至急紙幣察へ可差出事

○藩札引換及下調等ハ管下ノ者へ可申付ノ事

第十六 六年四月五日大藏省第五十六號府縣ハ布達
舊藩札為引換官員派出為致候ニ付右藩札請取ノ際眞贋其
外檢査ノ為銀行名代人附屬申付置候處或ハ縣官於テ銀行
出張ノ者へ右藩札引換及上納下調申付候向_レ有之裁之趣
仮令檢査人ハ相替リ候共同組ノ者ニテ互ニ檢査取扱候テ
ハ檢査ノ趣意ニ相悖リ其益無之候條向後縣官於テ藩札引
換及下調等ハ總テ其管下ノ者へ申付候様可致事

○舊藩々製造ノ札各種可差出ノ事

一應
二應
三應
四應
五應
六應
七應
八應
九應
十應

第十七 六年五月廿七日大藏省第八十三號府縣へ布達

舊藩々製造ノ札各種都合三通ツ、可差出旨先般相違候處
第一類編第一一篇第
五卷第七十三見合猶至急入用有之候間御一新前後製造之
無差別手摺汚レ無之文字押印等發輝ト相分候分各種一ト
通ツ、往返日數ヲ除ノ外十日限紙幣察へ可差出尤代金之
儀ハ價格比較表之價位ヲ以別途下ケ渡候條受取方可申出
候事

但先般差出候見本代金受取方未夕不申出向モ有之候間
早々取調可申出候事

○府藩縣製造紙幣準備金上納ノ事

第十八 六年十月廿四日大藏省第百五十號府縣へ布達

舊藩縣及舊旗下製造紙幣引換準備金之儀調書差出早々當
省へ相納候様辛未十二月公布後度々當省ヨリ相違候趣モ
有之候處第一類編第一一篇第五卷自
第七十四至第七十九見合最前準備金有無届方疎
漏ニテ正金金札ト届候分藩札ニ成換リ居或ハ事故有之上納
之節多分之増減等有之甚以不都合之儀ニ付追々紙幣察ヨ
リ尋問取調候得共于今殘金不納亦ハ尋問數度ニ及ヒ候得
共其譯判然不申出向モ有之候趣然ル處紙幣之儀ハ追々處
分相濟引換焼却之期ニ至リ候處右様準備金納方等等開相
成候向有之候テハ不都合之至リニ候條別紙雖形相違候間
是迄仕譯書差出濟之分トモ更ニ雖形ニ照合増減其外巨細
取調往復日數ヲ除キ十日限無相違可差出候尤未夕納殘金

第一類編
第二類編
第三類編
第四類編
第五類編
第六類編
第七類編
第八類編
第九類編
第十類編

有之候向ハ至急紙幣寮へ上納可取計候此旨相達候事(別紙雜形券ス)

○贖金

○新貨幣

○贖金造幣寮へ持衆ノ者代價拂渡方ノ事

第十九 六年六月八日第百九十二號御布告

戊辰紛擾ノ際一時流通ノ銀臺贖貳分判ノ儀是迄造幣寮へ持參ノ節ハ同寮發行ノ預リ證券ヲ以テ交換致遣候處今般預リ證券發行廢止(第三十見合)ニ付テハ向後同寮へ贖金持參高一萬兩以上ノ分ハ速ニ溶解シ品位價格ヲ定メ改鑄時間ヲ待タス分析等ノ費用ヲ引去直ニ代價可拂渡候條贖金儲蓄ノ者ハ造幣寮へ差出候様可致候此段相達候事

○銀貨幣量目増ニ付五十錢以下模様改正ノ事

第二十 六年二月十日第四十六號御布告

壬申第三百四十一號布告定位銀貨幣量目増相成候ニ付向來鑄造ノ五十錢以下定位銀貨幣之模様別紙圖面之通改正候條此段為心得相達候事

定位銀貨幣改正圖面

五 十 錢 貨

表



二十錢貨十錢貨五錢貨モ之ニ準ス

第三十六頁

銅	銅貨	
一	二	
表	裏	表
		
枚百以	圓一換枚十五以	
經 <small>曲尺</small>	目量	經 <small>曲尺</small>
日本九分二厘 英一インチ一。	日本三又七分九厘五毛 英二百二十〇グレイン	日本一寸〇五厘 英一インチ二五

三十六

右各種貨幣ノ寸法量目等ハ壬申十一月中相達候通



○銅貨幣二錢ノ壹種ヲ加ヘ各種圖面改正鑄造ノ事

第廿一 六年八月廿九日第三百八號御布告

辛未年中頒布新貨條例中銅貨幣ノ儀ハ壹錢半錢壹厘ノ三種ニ候處今般人民ノ便利ヲ謀リ更ニ貳錢ノ壹種ヲ加ヘ且各種ノ圖面等モ別紙雛形ノ通改正鑄造候條此旨布告候事

改正銅貨圖面寸法并量目表

憲法類編
第八冊

銅貨		貨
半錢		錢
裏	表	裏
以二百枚換一圓		換一圓
目量	經曲尺	目量
日本 九分四厘八毛七五 英 五十五グレイン	日本 七分二厘 英 〇インチ八七	日本 一匁八分九厘七毛五 英 百十〇グレイン

銅貨		貨
一厘		厘
裏	表	
以千枚換一圓		
目量	經曲尺	
日本 二分四厘一毛五 英 十四グレイン	日本 五分二厘 英 〇インチ六二	

海外在留ノ官負生徒等月給旅費總テ新貨幣ヲ以可相渡事第二卷ノ第百廿三ニ載ス

○大坂造幣寮ニテ地金收納相斷ノ事

第廿二 六年七月廿五日第百六十八號御布告

大坂造幣寮ニ於テ貨幣鑄造地金收納之儀本年九月一日ヨ

憲法類編
第八冊

二憲法類編
第八冊

リ同十一月十五日迄一切相斷候條此旨布告候事

第廿三 六年七月三十日大藏省第百十六號府縣へ布達

大坂造幣寮ニ於テ地金收納之儀來ル九月一日ヨリ相斷候
旨太政官第百六十八號ヲ以御布告相成候處今般更ニ詮
議之筋有之來九月十六日ヨリ十一月十五日迄地金收納相
斷候條此旨為心得相違候事

第廿四 六年十月七日第三百三十四號御布告

大坂造幣寮ニ於テ地金收納之儀ニ付本年第百六十八號
布告並大藏省第百十六號布達候處今般詮議之筋有之來ル
十一月三十日迄同寮休業候條此旨更ニ布告候事

○新貨條例中刪去改定ノ事

第廿五 六年十二月十九日第四百十二號御布告

新貨條例中新貨幣例目ノ末條ハ刪去シ造幣規則第四條ハ
左ノ通改定候條此旨布告候事

品位並價格トモ詳明ナル銀地金并日本或ハ外國銀貨幣ハ
二千才シ「スト口イ」凡拾六貫五
百六拾匁以上ノ高ナラハ之ヲ受取造
幣規則ニ從テ一圓銀ヲ以テ拂ヒ渡スヘシ

○證券

○大藏省開拓使證券一圓以上之分捺印方并五十錢
以下引換手續及通用停止日限ノ事

第廿六 六年三月十五日大藏省第三十四號府縣へ布達
當省並開拓使發行爲換座三井組ト記載致シ候正金兌換證

第一編
第八冊
證券
二十八

券ノ儀一圓以上ノ分堅牢黒肉ヲ以更ニ何圓ノ捺印致シ候
筈兼テ相違有之候處右札諸國へ散布ニ付東京大坂等而已
ニテハ所持ノ者迷惑不少且拵取兼候ニ付此度三井組へ申
付同組出張先於テ加印セシメ候間其管下最寄々々聊ニテ
モ所持ノ者ハ纒ノ手數ヲ不厭速ニ右出張先へ可申出旨未
未迄及布達無洩加印相調候様厚世話可致事

第廿七 六年五月廿日第百六十九號諸府縣へ御布告

去辛未以來發行ノ為換座三井組ト記載有之大藏省及開拓
使正金兌換證券ノ内五拾錢貳拾錢拾錢ノ三種小券昨壬申
末發行ノ新紙幣ト引換可相成旨同年第百二十三號及ヒ
第三百十五號ヲ以テ布告候處第一類編第一一篇第五卷ノ本
第百廿七第七百廿八ニ載ス

年十二月廿日限り通用令停止候條右證券所持ノ者ハ百期
限ニ後レサル様左ニ揭示スル場所并ニ西京其外各地方應
へ引換可申出旨各管轄内へ不洩様可相達尤引換方ノ儀ハ
大藏省へ打合不都合無之様可取計事

東京函崎町 開拓使貸附會所

大坂北鞆町 會所

函館大町壹町目 會所

札幌 同使廳

根室 同支廳

樺太 同斷

留萌 同斷

二 意 注 類 別
第 八 冊

浦河

同 斷

松前

同 出 張 所

小樽

同 斷

各 府 縣

引換場所ノ儀ハ其縣ノ便宜ニヨ
ルヘシ但シ東京大阪兩府ヲ除ク

第廿八 六年六月廿四日大藏省第百一號府縣ハ布達

本年第百六十九號ヲ以公布相成候通(第廿七)正金兌換証券

之内五拾錢貳拾錢拾錢之三種引換可相成ニ付別紙手續書

相渡候條不都合無之様可取計事

別紙

正金兌換証券五拾錢貳拾錢拾錢三種引替方手續書

第一條

近來兌換証券ニ模擬贋造之モノアリ故ニ縣官ヨリ茲ニ
注意シ交換之際註誤ナキヲ要ス

第 二 條

手摺墨附油漆有之モノハ引換與ル事差支ナシ燒損ノモ
ノニテモ西洋製小印紙及ヒ何錢之文字現存スルハ引換
與フヘシ

但現存スル共何錢之文字欠損シテ分明ナラサルハ拾
錢ヲ以テ引換與フヘシ

第 三 條

贋札ヲ持參シテ引換ヲ請フ者アラハ其贋札ニ相違ナキ
ノ確證ヲ指示シ其種類金高枚數ヲ帳面ニ登記シ持參人

第 二 卷 法 類 編 第 八 冊

之眼前ニ於テ其札ヲ斷截シ贋札持參ノ者ニ疑敷事アリハ之ヲ探索シ又ハ之ヲ推亂タル事勿論引換畢リタル後贋札類ヲ集メテ令參事ヨリ明細書ヲ添テ東京紙幣寮大坂出張紙幣寮へ上納スヘシ

第四條

西洋製小印紙ナキモノハ真物タルモ引換與フヘカラス

第五條

引換元金ハ第二常備金之内ヲ以繰替取計置追而證券引換畢リ上納濟之後紙幣寮ヨリ請取ヘシ

第六條

引換タル三種證券ヲ上納スルニハ其種類ヲ分千百圓宛ニ封シテ其上面へ金高枚數種類ヲ詳記シ令參事捺印之

上ニテ別ニ金高枚數種類ノ明細帳ヲ添東京府外二十六縣ハ東京紙幣寮京都府外一府三十四縣ハ大阪出張紙幣寮へ上納スヘシ

但上納之前其證券ヲ東京第一國立銀行並其出店へ相預ケ其預リ證書ヲ以東京紙幣寮大阪出張紙幣寮へ上納スヘシ右納之後検査ヲ行フニ當リ若シ札負之不足或ハ贋札之混入セルヲ發見スル時ハ令參事其責ニ任シ相當之辨金ヲ致スヘシ

東京紙幣寮へ上納之部

東京府

神奈川縣

新潟縣

埼玉縣

熊谷縣

足柄縣

千葉縣

新治縣

茨木縣	朽木縣	濱松縣	静岡縣
山梨縣	筑摩縣	長野縣	宮城縣
福島縣	磐前縣	若松縣	水澤縣
岩手縣	青森縣	山形縣	置賜縣
酒田縣	秋田縣	相川縣	
大阪出張紙幣寮へ上納之部			
京都府	大阪府	兵庫縣	長崎縣
奈良縣	堺縣	三重縣	度會縣
愛知縣	滋賀縣	岐阜縣	敦賀縣
石川縣	新川縣	豐岡縣	鳥取縣
島根縣	濱田縣	飾磨縣	北條縣

岡山縣	小田縣	廣島縣	山口縣
和歌山縣	名東縣	高知縣	愛媛縣
福岡縣	三潯縣	小倉縣	大分縣
佐賀縣	白川縣	宮崎縣	鹿兒島縣

第七條

右上納ニ付運送ノ入費ハ可成丈減少之方法ヲ以第二常備金之内ニテ立替置追々明細帳ヲ以當省へ申立別途之ヲ受取ヘシ

明治六年六月

大藏省

第廿九 六年十一月十日大藏省第百六十三號府縣へ布達
 本年第一百號當省布達正金兌換証券ノ内五拾錢貳拾錢拾

錢ノ三種引換高當十月三十一日迄ノ分取調往復目數ヲ除
ノ外三日限紙幣寮へ可差出右ハ御都合モ有之候條可成丈
早行引換本年第六拾九號公布之通期日後レサル様注意
可致候此旨布達候事

第三十 六年十一月廿三日第四百十五號御布告

本年五月第六十九號ヲ以テ開拓使發行五十錢以下證券
ノ儀本月廿日限り停止ノ旨其外引換方等布告候處未引換
殘モ有之由相聞候ニ付特別ノ譯ヲ以テ更ニ明治七年二月
廿八日マテ前號ノ趣ニ準シ引換遣候條右日限迄無相違引
換可申候此旨布告候事
但通用停止ノ儀ハ第六十九號ノ通りタルヘキ事

○古金銀納入証券廢止ニ付引換方ノ事

第三十二 六年五月廿八日第七十六號御布告
造幣寮ニ於テ古金銀預リ証券ヲ發行候段辛未十一月及布
告候處廢止候條此段為心得相違候事

第三十一 六年六月二日大藏省第八十九號府縣へ布達

本年第七十六號ヲ以公布相成候通古金銀納入証券發行
相廢止候ニ付テハ從前發行有之分引換期限相過居未々引
換不申出分ハ當七月三十一日限り造幣寮へ持參交換可願
出候此段相違候事
第三十三 六年八月八日大藏省第一百十八號府縣へ布達
本年當省第八十九號布達ヲ以古金銀納入証券發行相廢止

候ニ付従前發行有之引換期限相過居未夕引換不申出分ハ
當七月三十一日限造幣寮ハ持衆交換可願出旨相違候處今
以引換不申出向モ有之不都合ノ事ニ候依之來ル九月十五
日迄延期候條同日限無遲滞引換之儀同察ハ可申出候此段
相違候事

第三十四 六年十月八日大藏省第百四十號府縣ハ布達
古金銀納入證券發行廢止之後従前發行引換殘之分當九月
十五日迄ニ無遲滞引換之儀可申出旨本年當省第百十八號
ヲ以再應布達候處猶以引換不申出向モ有之重々不都合之
事ニ候依之十二月中限引換可遣候條早々引換之儀可申出
候此段更ニ布達候事

但本文十二月中限引換不申出分者一切取上不申候條此
旨可相心得候事

○新紙幣

○新紙幣百圓五十圓見本等ノ事

第三十五 六年二月八日正院達

新紙幣百圓五十圓ノ兩種ト申第百二十四號ヲ以相違置

候通第一類編第一篇第五卷第百三十二號為見本各二枚以下渡候條管内

ハ可及布達候也見本

第三十六 六年二月九日正院ヨリ諸省府縣ハ達

新紙幣各種見本下ケ渡置候處實物流行致シ最早見合無之

候テモ無差支相聞候間早々取纏メ可差出事

憲法... 第一編 第八冊

第三十七 六年三月廿七日正院達
新紙幣各種見本早々取纏ノ可差出旨去ル二月九日相達置
候處今以返納不致向有之不都合ノ事ニ候條四月廿日限志
皆返納可致事

○新紙幣各種見本並金券見本差立途中逢強奪ノ事
第三十八 六年五月廿日第百七十號御布告
去四月十九日大阪府及同所出張驛遞寮ヨリ新紙幣各種見
本並ニ西京大阪神戸為替會社金券見本別記ノ通書留郵便
ヲ以テ差立候處途中淀收方ノ間塚縣下楠葉村ニ於テ郵便
行李逢強奪候段大阪府並ニ驛遞寮ヨリ届出候條各地方官
ニ於テ嚴密遂探索右品見當候ハ、大藏省へ可申出事
別記
客之

○見本鑿孔ノ紙幣散布ノ分引替願方等ノ事
第三十九 六年五月廿五日第百七十四號御布告
去壬申六月中見本トシテ相渡置候鑿孔ノ新紙幣ヲ縣官ノ
内心得違ヲ以テ通用札へ取交セ官費ノ内へ遣拂候向有之
ヨリ現今各地へ散布致候趣右ハ通用札ニ不紛様兼テ鑿孔
致シ置候品ニ付自然其儀不心付所持ノ者有之候ハ、速ニ
紙幣寮又ハ第一國立銀行へ引替可願出尤懸隔之場所ハ其
地方廳へ可願出事

第四十 六年五月廿七日小田縣へ御達
壬申六月中見本トシテ相渡候新紙幣二百五拾五圓ノ内二
百拾七圓ハ官負心得違ヲ以官費ノ内へ拂出候ヨリ各地へ

憲法... 第一編 第八冊 三十五

散布シ取纏メ方行届兼候趣ニ付第百七十四號ノ通及布告候就テハ其縣官費ノ内二百拾七圓ノ餘金可有之筈ニ候條通用札ヲ以右金高早々紙幣寮へ上納可致事

第四十一 同日滋賀縣へ御達

壬申六月中元犬上縣へ見本トシテ相渡候新紙幣二百五十五圓ノ内二百廿六圓ハ元同縣官負心得違ヲ以官費ノ内へ拂出候ヨリ各地へ散布シ取纏方行届兼候趣ニ付第百七十四號ノ通及布告候就テハ元犬上縣官費ノ内二百廿六圓ノ餘金可有之筈ニ候條通用札ヲ以右金高早々紙幣寮へ上納可致事

第四十二 六年五月三十一日大藏省第八十七號府縣へ布達

去壬申六月中見本トシテ諸向へ御渡相成候鑿孔新紙幣之内小田縣並元犬上縣官負心取違ヲ以通用札へ取交拂出候ヨリ各地へ散布流通致シ候趣右札世間ニ流布候テハ不都合ニ付所持之者ハ早々引換可願出旨今般御布告相成候ニ付引換願出候ハ、常備金之内ヲ以一時引換遣シ願人姓名住所並紙幣之番記委細相認紙幣寮へ送納致シ右引換金請取可申尤去壬申九月二百八十一號ヲ以御布告相成候第一類編第一篇第五卷第百三十四二載ハ紛失ノ新紙幣ト不混様番記相改引換可取計事

○會社金券

○西京大坂神戸大津敦賀為換會社ノ金券引換ノ事

第四十三 六年六月三日大藏省第九十二號府縣へ布達

西京大阪神戸大津敦賀為換會社於テ發行之金券者當四月一日ヨリ九月三十日迄引換可願出旨兼テ及布達置候處引換願出候者稀少之趣右様等間ニ打過候而者自然期限ニ差迫リ引換願之者一時ニ輻湊致シ混雜之處ヨリ引換殘モ出來致シ所持之者可及難儀條其邊之御趣意柄ヲモ篤ト相辨金券所持之者ハ聊夕リ共早々引換可願出旨小前未々迄不洩様可相達事

第四十四 六年十月三日大藏省第三百三十七號府縣へ布達

西京大阪神戸大津敦賀為替會社發行金券引換方之儀兼テ相達置候諸上納其他交換為シ遣候員額當九月三十日迄ノ

分別紙雛形之通取調十月七日ヨリ往返日數ヲ除之外十日ヲ限紙幣察並ニ大阪出張同察之内へ差出可申此旨相達候

事別紙雛形

第四十五 六年十月三日大藏省第三百三十八號府縣へ布達

西京大阪神戸大津敦賀為換會社發行金券當四月一日ヨリ九月三十日迄引換方及布達候ニ付右期限後通用難相成處萬一僻陬之地引換殘リ等有之其儘廢物ト相成候而ハ小民共可為難儀ニ付特別之詮議ヲ以當十一月三十日迄為引換候ニ付右延期中無遺漏引換尤來ル十二月一日ヨリ斷然通用令停止候條後日不都合無之様注意管下一般不洩様可觸示此旨更ニ布達候事

第百六十六 六年十二月四日大藏省第百七十一號府縣へ布達

西京大坂神戸大津敦賀為換會社金券引換期限當十一月廿日迄之續當省第百三十八號ヲ以相違置候通期限後通用引換共不相成候條兼而相渡置候見本札未夕返納不相成向ハ早々相納可申候就テハ先般第百三十七號ヲ以相違候諸上納其他交換濟之負額當九月廿日迄之分ハ逐次届出有之候得共猶十月一日ヨリ十一月卅日迄之分別紙雜形ニ照シ取調本月七日ヨリ往返日數ヲ除之外十日ヲ限リ有無トモ紙幣察並大坂出張同察之内へ可届出候此旨相違候事（月紙雜形畧ス）

第百四十七 六年十二月廿五日大藏省第百八十五號府縣へ布達

西京大坂神戸大津敦賀為換會社金券引換期限當十一月三

十日迄之續本年第百三十八號當省布達之通期限後通用引換トモ不相成候條兼テ相渡置候見本札返納云々頃日第百七十一號ヲ以相違置候處兎角右金券今以諸方ニ散布致居候趣ニテ既ニ實況報告處分伺出之向モ有之右ハ固ヨリ布達之旨ヲ注意セサル所ヨリ竟ニ引換之機ヲ外シ萬々不都合之次第ニ付其儘廢物ト為シ可申筈之處左候テハ紙民トモ可為難義ニ付更ニ特殊之典ヲ以來明治七年二月止ハ日マテ本社并各地方廳ニ於テ引換違候條所持之者ハ右日限中決テ無相違申出交換可致旨各管下一般無漏洩觸示早々可令處分尤通用ハ不相成候萬一右期限ヲ過何様歎願候共採用不致斷然可為廢物候此旨相違候事

○橫濱為換會社發行金券引換ノ事

第四十八 六年十月廿日大藏省第百四十六號府縣へ布達

今般橫濱為換會社改革ニ付去ル明治二年以降同會社ヨリ
發行之金券 貳拾五兩 壹兩 二種各地方廳并橫濱第二國立銀行ニ
於テ本月廿五日ヨリ來明治七年一月卅一日マテ引換為致
候條所持之者ハ右日限中無遲滯申出引換可申尤同年二月
一日ヨリ斷然通用令停止候此旨布達候事
但本文金券之儀ハ東京為換會社發行之品ト一樣之形ニ
而只表面地名ヲ記シタル一類之印章ノ以區別有之事ニ
付能々心附可申事

第四十九 六年十月廿日大藏省第百四十七號府縣へ布達

這回橫濱為換會社改革ニ付右會社發行金券之儀當省第百
四十六號布達之通來明治七年二月一日ヨリ通用令停止候
條右引換為見本二十五兩札壹兩札各拾枚ツ、相渡候間迅
速降手處分可有之其引換元金之儀ハ兼テ取立置候租稅亦
ハ置金ノ内ヲ以テ取計尤右金券ヲ以租稅其他上納物ニ加
へ不苦候得共為夫諸上納可成丈遷延不相成様注意取計可
申候此旨相達候事

但本文金券ノ儀每月交換高種類トモ翌月五日付ヲ限リ
引換有無トモ報告書紙幣察並大坂出張同察之内へ地方
之最寄都合ヲ以差出且追テ結局届出之節見本札相納可
申候事



第五十 六年十一月五日大藏省第百五十六號府縣へ布達
橫濱發行金券引換ノ儀ニ付本年第百四十九號當省布達（四第
十九見合）引替元金ノ儀ハ兼テ取立置候租稅又ハ置金ノ内ヲ以
テ取計云々掲載有之候處更ニ詮議ノ次第有之引替元金ニ
租稅ヲ以テ繰替遣拂候廉ハ取消候條此段相違候事
但右金券ヲ以テ租稅其他上納物ニ加ヘ候等ノ儀ハ布達
ノ通不告候事

第五十一 六年十二月八日大藏省第百七十三號府縣へ布達
本年當省第百五十六號布達中橫濱發行金券引替之儀ニ付
第百四十九號布達取消云々ノ廉ハ第百四十七號ノ誤ニ候
條此旨相違候事

○東京為換會社發行金券引換ノ事

第五十二 六年十一月廿四日大藏省第百六十五號府縣へ布達
今般東京為換會社改革ニ付去ル明治二年已降同會社ヨリ
發行之金券 廿五兩 壹 兩 二種各地方廳并東京第一大區十四小區
蠣殼町二丁目為換會社ニ於テ當十二月一日ヨリ米明治七
年二月廿八日迄引換為致候條所持之者ハ右日限中無遲滯
申出引換可申尤同年三月一日ヨリハ斷然通用令停止候此
旨布達候事

但本文金券之儀者橫濱為換會社發行之品ト同種ニテ只
表面右之方華押之下ニ地名ヲ記シタル一顆之印章 橫濱
ハ表面左之方ニ地名ヲ以區別有之事ニ付能々心附可申事
名ノ印章捺捺有之

第五十三 六年十一月廿四日大藏省第百六十六號府縣へ布達
這回東京為換會社改革ニ付右會社發行金券之儀當省第百
六十五號布達之通來明治七年三月一日ヨリ通用令停止候
條迅速降手處分可有之右引換元金之儀ハ該廳置金等之内
ヲ以取計尤右金券ヲ以租稅其他上納物ニ差加へ不苦候間
諸般不都合無之様注意取計可申候此旨相達候事
但見本札之儀者先般第百四十六號百四十七號ヲ以相達
候橫濱為換會社發行之品ト同種ニテ帝金券表面地名ヲ
記シタル一顆之印章ヲ以區別致シ候マテ之儀ニ付此度
ハ別段見本札相渡不申候條此分引換相濟候マテ橫濱會
社金券見本ハ上納ニ不及候其他百四十七號達之通相心

得可申事

○各為換會社發行金券引換ノ分可届出ノ事
第五十四 六年十一月廿四日大藏省第百六十七號府縣へ布達
各為換會社發行金券諸府縣ニ於テ引換遣候元金之儀者該
廳置金等之内ヲ以取計右交換高紙幣察並ニ大阪出張同察
之内へ報告之儀西京大阪神戸天津敦賀會社之分ハ當九月
三十日マテ之引換高一ト先届出東京橫濱之分ハ前月分引
換高翌月五日ヲ限り有無共可届出旨逐次相達置既ニ届出
之分モ有之候處中ニハ右引換金券届高之内其廳之都合ヲ
以掛屋へ申付直ニ發行元會社へ相廻既ニ引換取計其旨届
書中ニ掲載無之向モ有之裁之ヨシ左候テハ紙幣察毎月計

算上重複ヲ生シ不都合之儀ニ付已ニ右様之儀有之是迄届
洩之向者往復ヲ除之外日數三日ヲ限リ取調前同察并出張
寮之内へ可申出尤已後ハ其時々此度報告書中へ記載可致
候此旨相達候事

○銀行紙幣

○國立銀行紙幣發行ノ事

第五十五 六年八月廿日第三百四號御布告

今般東京第一國立銀行ニ於テ國立銀行條例之趣意ニ據リ
(銀行條例ノ一ノ第一類編第
二篇第四卷ノ第七見合)公債證書ヲ抵當トシテ本年八月
二十日ヨリ別紙見本之通ニ拾圓拾圓五圓貳圓壹圓五種之
紙幣ヲ發行セシメ海關稅及ヒ公債証書ノ利息ヲ除ク之外

租稅其他一切公私之取引等總テ正金同様通用セシメ候條
此旨可相心得最右紙幣之儀ハ何時ニテモ銀行本店並橫濱
大阪神戸之技店ニ於テ人民之望次第無差支正金ト引換ル
筈ニ付無疑念取引可致依テ銀行紙幣見本相添此旨布告候

事(見本
畧ス)

第五十六 六年十月十八日第三百五十一號御布告

東京第一國立銀行紙幣ノ儀東京本店并ニ橫濱大阪神戸ノ
技店ニ於テ引換候旨本年八月第三百四號ヲ以布告候處東
京ハ第一大區小十五區堺町大坂ハ東大組第十三區高麗橋
通四丁目ニ於テ別店ヲ設ケ引換專務為取計候條望ノ者ハ
右兩所ノ内へ可申出此旨布告候事

第五十七 六年十一月十四日第三百七十八號御布告

今般大坂第五國立銀行ニ於テ國立銀行條例ノ趣意ニ據リ
公債證書ヲ抵當トシテ本月十七日ヨリ貳拾圓拾圓五圓貳
圓壹圓五種ノ紙幣ヲ發行セシメ海關稅並公債証書ノ利足
ヲ除ノ外租稅其他公私ノ取引等總テ正金同様令通用候條
此旨可相心得尤右紙幣ノ儀ハ何時ニテモ人民ノ望次第左
ノ場所ニ於テ無差支正金ト引換ル筈ニ付聊無疑念取引可
致此旨布告候事

但紙幣ノ儀ハ本年八月第三百四號布告第一國立銀行ニ
於テ發行ノ品ト同様ニテ唯表面銀行名號地名及ヒ頭取
支配人ノ名印並裏面割印相異リ候迄ノ儀ニ付別段見本

相添サル事

第五國立銀行發行紙幣正金引換場所

本店 大坂西大組第十三區立賣堀五丁目

枝店 東京第一大區十四小區新和泉町

第五十八 六年十二月二十日第四百十四號御布告

本年十一月第三百七十八號布告訂正

第五國立銀行發行紙幣正金引換場所本店大坂西大組第十

三區八第十區ニ候條此旨更ニ布告候事

○第一國立銀行紙幣見本ノ分紛失ノ事

第五十九 六年十一月十七日第三百八十六號使府縣へ御達

本年八月第三百四號布告第一國立銀行發行紙幣見本トシ

三原六類終
録ノ子

テ下渡候内岐阜縣下石津郡高須町ニ揭示ノ分別記ノ通當
十月十六日何者トモ不知盜去リ候段同縣ヨリ届出候條各
地方官ニ於テ嚴密遂探索右品見當リ候ハ、大藏省へ可申
出此旨相達候事

別記紛失銀行紙幣種類内譯

第一國立銀行紙幣

一貳拾圓	子五百七十五號	壹枚
	子五百八十五號	同
	子千五百四十四號	同
	子千五百五十一號	同
一拾圓		

一五圓

一貳圓

一壹圓

○雜

○官省札藩紙幣燒捨ノ事

第六十 六年四月廿二日大藏省届書節畧

一五圓	子二千五百十七號	同
	子二千五百廿四號	同
	子三千四百八十九號	同
一貳圓	子三千四百九十四號	同
	子四千四百五十七號	同
一壹圓	子四千四百六十二號	同

但表裏面ニ見本ノ朱印捺押有之候

三官六類
卷八

官省札並舊藩々製造ノ紙幣大坂出張出納紙幣兩察へ相納候内檢査濟ノ分左ニ表面ノ通燒捨候

一 太政官札貳拾五萬貳千六拾四兩三分

一同損札貳萬六百七拾三兩三分貳朱

一 民部省損札千百三拾九兩貳分貳朱

一 藩札五拾六萬七十八百拾貳兩貳分永五拾文貳分一厘

是ハ 豊岡縣ノ内 舊豊岡

同 舊福知山

同 京都府ノ内 舊綾部

同 大坂府ノ内 舊高槻

同 高知縣ノ内 舊高知

同 名東縣ノ内 舊九龜

同 同 舊高松

同 福岡縣ノ内 舊福岡

同 山口縣ノ内 舊山口

同 同 舊舞鶴

同 大分縣ノ内 舊杵築

同 同 舊岡

同 三潁縣ノ内 舊柳町

同 宮崎縣ノ内 舊飲肥

同 白川縣ノ内 舊熊本

同 鷗崎出張所 舊彦根

右官省札ハ當三月六日舊藩札ハ當二月廿七日ヨリ三月六日マテニ大坂造幣寮構内明地ニ於テ大坂出張出納紙幣兩寮官負立會燒捨候段申越候依之此段御届申上候也

第六十一 六年九月十三日東京府へ御達

太政官民部省札並大藏省開拓使發行兌換證券舊藩札等引揚候分第五大區小四區佐久間町一丁目河岸火除地ニ於テ

憲法類編 第八冊

今十三日ヨリ焼捨中下民へ縦覽為致不苦候條其旨布達可
致此旨相達候事

〔附〕 六年九月十八日ヨリ十月三十一日迄和泉橋外焼却場

ニ於テ焼捨紙幣負數 明治六年太政官日誌
第百五十四号ニ出ツ

- 一 太政官札四百六拾六萬五千八百五兩壹分貳朱
 - 一 民部省札拾六萬五千四十五兩三分貳朱
 - 一 新札引換損札貳萬七千四百七拾圓五拾錢
 - 一 開拓使發行證券八萬六千六百二十八圓貳拾錢
 - 一 舊洋銀札百四拾九萬四千八百六十弗
 - 一 舊藩札四百九拾七萬六千六百四十五枚
- 此新貨百壹萬貳千五百三拾四圓七拾五錢壹厘

一大藏省發行兌換証券壹萬七百七拾圓

○諸紙幣交換臨時至急ヲ除クノ外納拂日限ノ事

〔第六十二〕 六年十月廿五日大藏省第百五十二號府縣へ布達

紙幣察於テ諸紙幣交換納拂之儀臨時至急之分ヲ除ク之外
爾來大ノ月廿七日小ノ月廿五日 二月八日 限受渡相止候ニ付
上納受取方共右日限兩三日前述ニ申立候様可取計此旨相
達候事

〔第六十三〕 六年十二月十八日大藏省第百八十號府縣へ布達

紙幣察於テ諸紙幣交換納拂取扱候日限之儀本年當省第百
五十二號ヲ以相達置候處六月十二月兩月之儀ハ爾來二十
日限納渡共相止ノ可申ニ付右日限前納請之儀可申出此旨

相達候事

附

造幣寮首長年報刊行ノ事六年六月十四日大藏省ヨリ諸省へ回達

今般造幣寮首長第二周年報刊行出来候ニ付為心得及廻

達候貳部ツ、御引去周尾ヨリ回文御返却有之度候也別紙

刊本アリ畧ス

二第 憲法類編第八冊終

明法寮編纂

明治七年甲戌六月刊行

村上勘兵衛

小川半七

北畠茂兵衛

山中市兵衛

坂上半七

賣弘

